

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 ☞ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	青少年健全育成活動事業費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	5	3	3	事業	2
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	青少年係	作成者	石塚 美恵子	内線(電話番号)	8430	シート作成日	H30.10.15	部長決裁日	H30.10.24			
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市青少年相談員に関する規則)													

2 事務事業の目的 ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	地域連携の意識が希薄になっている現在では、青少年を取りまく環境も変化している。本事業は、青少年の非行防止と健全育成のため、相談員の活動の充実を目指すものである。なお、さらなる成果の向上には市民参加や地域ボランティアの協力が一層必要とされている。	誰・何を対象に 青少年、青少年相談員 どのような方法・手順で 青少年健全育成と非行防止につなげるため、相談員の資質の向上を図るための研修等を行う。また、生活指導を定期的実施する。	望ましい状態 相談員による街頭指導の継続と、地域ぐるみで青少年育成が図れる体制の整備
------	--	--	---

3 事務事業の主たる成果指標 ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	街頭指導活動等参加延べ人数	単位	人	目標値	150	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	青少年相談員事業として実施する研修、街頭指導活動等に参加した相談員数を目標とする。
-----	---------------	----	---	-----	-----	------	----------	-------------------------------------	---

4 事務事業の実績 ㉑

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量		
①	常総市青少年相談員会総会	1回	① 常総市青少年相談員会総会	1回	① 常総市青少年相談員会総会	1回		
②	第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回	② 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回	② 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回		
③	定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	11回	③ 定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	11回	③ 定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	11回		
④	「常総市少年の主張大会」実行委員会	3回	④ 「常総市少年の主張大会」実行委員会	3回	④ 「常総市少年の主張大会」実行委員会	3回		
⑤	サマーキャンプ	1回	⑤ サマーキャンプ	1回	⑤ サマーキャンプ	1回		
⑥	企画委員会議	1回	⑥ 企画委員会議	1回	⑥ 企画委員会議	1回		
⑦	平成27年度新任青少年相談員研修会	1回	⑦ 平成28年度新任青少年相談員研修会	1回	⑦ 第47回茨城県青少年相談員研修大会	1回		
⑧	第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回	⑧ 第46回茨城県青少年相談員研修大会	1回	⑧ 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回		
⑨			⑨ 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回	⑨			
⑩			⑩		⑩			
⑪			⑪		⑪			
⑫			⑫		⑫			
目標値に対する実績値		114 人	目標値に対する実績値		133 人	目標値に対する実績値		118 人
決算額	計	625,921 円	計	687,264 円	計	611,670 円		
	内訳	特定財源 0 円 一般財源 625,921 円	内訳	特定財源 0 円 一般財源 687,264 円	内訳	特定財源 0 円 一般財源 611,670 円		
		(住民一人あたりの行政コスト) 10 円		(住民一人あたりの行政コスト) 11 円		(住民一人あたりの行政コスト) 10 円		

5 担当者評価 ㉒ ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり 成果内容 青少年の身近で青少年相談員が活動することにより、青少年の健全育成及び非行防止の一助となっている。
問題点	各地区の相談員の高齢化、後任者がいないことなどが課題である。

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓ ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

現相談員の高齢化や後任選考に困難な状況ではあるが、青少年の育成のため継続したい事業である。

7 実施計画 ㉔ ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各地区青少年相談員街頭指導を実施予定 常総市青少年相談員会総会の開催 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会の開催 定例街頭指導活動を実施予定 「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 夏休み街頭指導活動を実施予定 「みつかいどう祇園祭」街頭指導活動を実施予定 「石下祇園まつり」街頭指導活動を実施予定 「将門まつり」街頭指導活動を実施予定 一言主神社秋季例大祭街頭指導活動を実施予定 「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 サマーキャンプを実施予定 企画委員会議を開催 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会へ参加 		<ul style="list-style-type: none"> 各地区青少年相談員街頭指導を実施予定 常総市青少年相談員会総会の開催 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会の開催 定例街頭指導活動を実施予定 「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 夏休み街頭指導活動を実施予定 「みつかいどう祇園祭」街頭指導活動を実施予定 「石下祇園まつり」街頭指導活動を実施予定 「将門まつり」街頭指導活動を実施予定 「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 サマーキャンプを実施予定 企画委員会議を開催 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会へ参加 		<ul style="list-style-type: none"> 各地区青少年相談員街頭指導を実施予定 常総市青少年相談員会総会の開催 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会の開催 定例街頭指導活動を実施予定 「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 夏休み街頭指導活動を実施予定 「みつかいどう祇園祭」街頭指導活動を実施予定 「石下祇園まつり」街頭指導活動を実施予定 「将門まつり」街頭指導活動を実施予定 「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 サマーキャンプを実施予定 企画委員会議を開催 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会へ参加 				
予算額	歳出	計	746 千円	歳出	計	746 千円	歳出	計	746 千円
	歳入	特定財源	0 千円	特定財源	0 千円	特定財源	0 千円		
		一般財源	746 千円	一般財源	746 千円	一般財源	746 千円		
		計	746 千円	計	746 千円	計	746 千円		

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。青少年相談室の立場を生かし、子ども会や学校、PTA等関わりをつくっていただきたい。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

青少年の健全育成事業には地域の力が不可欠であり、市民の協力を得ながら継続すべき事業と考える。しかしながら、他課において同様の事業が実施されているものは統合し、より充実した事業となるよう検討すべきである。また、少年の主張については、県など上位団体で実施する大会に、市の代表として参加できるよう、開催時期について再考していただきたい。

11 事務事業の改善理由 ㉖ ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

課題である少年の主張大会は、上位団体が実施する大会への参加ができるよう、学校、実行委員会での話し合いを増やし、開催時期を見直し、2年後の参加を目標とする。